

## 旧割烹新川屋活用方針について

## これまでの経過

- ・旧割烹新川屋本館及び土地は、令和元年度に利根運河周辺の観光振興に資する施設として活用するために約1億4千万円で購入した。
- ・財源は、国土交通省の補助事業である都市構造再編集中支援事業を活用している。
- ・当時の整備計画は、ツーリズムの拠点とするべく、本館を観光交流センターと地域交流センターに整備し、併せて駐車場や庭園、外構を一体的に整備する計画とした。国に提出している計画期間は令和2年度から令和6年度までとなっている。
- ・当該整備計画に基づき、令和3年度、4年度に継続費を設定して、本館及び蔵の耐震診断と地盤の調査並びに、補助事業が採択された際に計画した整備内容の検討を業務委託により実施した。
- ・検討の結果、整備費が約5億円と算出された。令和5年度は、実施設計の予定だったが事業見直しのため予算計上しなかった。
- ・議会においては、令和5年第3回定例会での令和4年度決算審査特別委員会において、算出された整備費用が約5億円となることを答弁した。約5億円かけて整備を行うべきかとのご指摘もあり、改めて、取り壊しを含めたゼロベースでの見直しを検討すると答弁した。

## 活用方針の検討

- ・生涯学習部と経済振興部では、ゼロベースで計画を見直す中で、市指定有形文化財として大きな改修を実施せずに保全管理を行っていくことや、民間活力を入れた整備を行うことを検討した。
- ・また、補助事業の計画が予定どおり進んでおらず、令和7年度には計画期間も超過となることから、事業に充てた補助金7,400万円の返還が必要となる。

- ・ 公共施設の維持管理部門である総務部も加わって検討を行い、売却という方法で民間活用を行うという方針とした。

#### 今後の利根運河周辺の活性化

- ・ 利根運河周辺の活性化については、利根運河交流館と運河水辺公園周辺だけでなく、令和6年度事業で、眺望の丘付近から対岸に渡る飛び石橋が着工されるところであり、今後、トイレも整備予定となっている。これにより、東京理科大学野田キャンパスの理窓会記念自然公園へのアクセスがよくなることから、国が事務局を務める「自然と人を育む地域づくり推進協議会」において、東京理科大学と連携した来訪者の増加施策について検討がなされている。

## 旧割烹新川屋総経費

### 1 旧割烹新川屋購入及び維持管理等に要した経費

NO	項目	金額	備考
1	購入関係経費	3,643,980	不動産鑑定手数料等
2	購入経費	139,430,250	土地・建物購入費
3	維持管理等経費	23,901,811	樹木剪定料・機械警備費等
小計		166,976,041	

### 2 建物等貸付料

NO	項目	金額	備考
1	建物貸付料	3,103,039	ブラスリー新川への貸付
2	電柱貸付料	5,250	
小計		3,108,289	

### 3 経費から貸付料を差し引いた額

**163,867,752**